

連載

株式評論家 山本伸一の

兜町スタンダード



市場の関心は企業の実態面から将来性へ！

決算発表シーズンが終わり、発表内容に注目した短期的な売買も一服。そして発表が出揃ったあと、素直に「業績の良いものが買われ、悪いものが売られる」という選別物色の展開となってきた。

前回コラムでは「決算相場後は株価の上値余地がポイントに！」として、昨年後半からの活況相場もあり、企業業績確認で明らかになった株価の評価余地・上値余地を投資テーマに挙げたが、先週に販売、配信を行った厳選5銘柄付き市況分析レポート「決算シーズンを総括！ 評価余地の大きい【上昇期待株！】の提供銘柄のなかからガ

ンナー・オンライン・エンターテイメント(3765)が提供後に10%の上昇率を記録し、早期の目標株価達成を果たすなど、購読者からは市況分析、銘柄アプローチを高く評価していただいた。

さて、企業の実態面が明らかとなり、その評価は正が進んだあと、今後は企業の将来性が市場の関心となろう。要するに企業の「実態面」に目を瞑って「将来性」を買う「リスクテイク」のスタンスとなる。

そこで弊社では「低位材料株」や「仕手系色の強い銘柄」、「バイオ関連」を対象とした「厳選5銘柄付き緊急市況レポート」を発売する。ややハイリスクな投資対象ながら、同時にハイリターン期待できる魅力的な投資テーマだろう。厳選銘柄やレポートに興味を持たれた方は、弊社に直接問い合わせしてほしい。